

2018年度 シラバス(授業内容)

昼間部2年 語学集中科 観光外語コース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付けること科目構成です。

(2) 専門科目: 各各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2018年度 昼間部2年 語学集中科観光外語コース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	10	10	4	4	28
	専門科目	15	23	22	22	82
合計		25	33	26	26	110

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期						
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数			
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	卒業研究Ⅰ	演	1	15	卒業研究Ⅱ	演	2	30			
	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15					グループコミュニケーションⅣ	演	1	15			
	グループコミュニケーションⅠ	演	2	30	グループコミュニケーションⅡ	演	2	30	グループコミュニケーションⅢ	演	1	15	キャリアデザインⅣ	講・演	1	15			
	キャリアデザインⅠ	講・演	2	30	キャリアデザインⅡ	講・演	5	75	キャリアデザインⅢ	講・演	1	15	就職筆記対策Ⅳ	講・演	1	15			
	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	就職筆記対策Ⅲ	講	1	15							
	ビジネス能力検定ジョブパス対策Ⅰ・Ⅱ	講	2	30															
	パソコン	演	1	15															
	小計		10	150	小計		10	150	小計		4	60	小計		4	60			
必修科目	Let's Speak English	演	1	30	English Communication Building in Austria	演	15	228	Tourism EnglishⅢ	演	3	45	Tourism EnglishⅣ	演	3	45			
	Tourism EnglishⅠ	演	1	15	Tourism EnglishⅡ	演	1	15	Tourism EnglishⅢ	演	3	45	Tourism EnglishⅣ	演	3	45			
	English Communication Foundation	演	1	15	English Communication in UseⅠ	演	1	15	English Communication in UseⅡ	演	3	45	English Communication in UseⅢ	演	3	45			
	Listening & Pronunciation	演	1	15	Speaking & Presentation	演	1	15	国内観光地理Ⅰ	講	1	15	国内観光地理Ⅱ	講	1	15			
	World DestinationsⅠ	講	1	15					World DestinationsⅡ	講	1	15	World DestinationsⅢ	講	2	30			
	外客接遇サービスⅠ	演	1	15					English Interview	演	1	30	外客接遇サービスⅡ	演	1	15			
	観光英検対策	講	1	15					News & DiscussionⅠ	演	2	30	News & DiscussionⅡ	演	1	15			
	Reading & WritingⅠ	講	1	15					Reading & WritingⅡ	演	1	15	Reading & WritingⅢ	演	1	15			
	TOEIC対策Ⅰ	講	2	30					TOEIC対策Ⅱ	講	3	45	TOEIC対策Ⅲ	講	3	45			
	TOEIC Listening	演	1	30	TOEIC Practice	講	1	30	Song EnglishⅠ	演	1	15	Song EnglishⅡ	演	1	15			
	English Games	演	1	15					Screen English	演	1	30	手話講座	演	1	15			
	Chinese Basics	演	1	15	Chinese Skills Building in Taiwan	演	3	45	Documentaries	演	1	15	Chinese Communication in UseⅡ	演	3	45			
									Chinese Communication in UseⅠ	演	3	45	フランス語Ⅱ/ドイツ語Ⅱ	演	1	15			
	中国語検定対策Ⅰ	講	2	30	中国語検定対策Ⅱ	講	1	15	フランス語Ⅰ/ドイツ語Ⅰ	演	1	15	社会人準備講座	講	1	15			
		小計		15	255	小計		23	363	小計		22	360	小計		22	330		
計	1年前期 計		25	405	1年後期 計		33	513	2年前期 計		26	420	2年後期 計		26	390			
	1年 計				1年 計				2年 計				2年 計						
					58				918				110				1728		
2年間 合計																			

	1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
行事	スタートアップセミナー		就職ガイダンス		オリエンテーション		中村学園祭	
	オリエンテーション合宿		中村学園祭				スピーチコンテスト	
	Airport Study		スピーチコンテスト					
	スポーツ大会		ホテル視察・テーブルマナー					

シラバス (授業内容)

科目名	卒業研究Ⅰ/Ⅱ (昼間部全学科)		担当講師	各ゼミ講師
履修コマ数	前期1コマ/後期2コマ	授業時間数	前期15時間/後期30時間	単位数 前期1単位/後期2単位
科目区別	共通科目			
実施期間	2年次：前期/後期			
目的及び概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。 観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。 今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。 なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。			
到達目標	① 自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ② プレゼンテーションの作成及び発表を行う。			
授業運営方法	演習			
教科書	なし (適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)			
検定・資格	なし			
<授業計画>				
	テーマ	授業内容詳細		授業時間
進め方		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究方法 		5時間
調査研究		<ul style="list-style-type: none"> ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別指導 ・実施内容の確認 		15時間
レポートのまとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・レポート構成 (序論、章、まとめ) ・レポート内容 (目的、方法、結果、考察) ・文献資料を参考し作成する 		15時間
発表		<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番での発表 		10時間
成績評価方法	<p>A：出席率90%以上、平常点 優 B：出席率80%以上、平常点 良 C：出席率60%以上、平常点 可 D：出席率60%未満、平常点 不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。 ・以下の提出物は全て提出すること。 <p>【提出物】前期：序論 後期：レポート・発表用資料</p>			

シラバス (授業内容)

科目名	グループコミュニケーションⅢ/Ⅳ		担当講師	担任
履修コマ数	前期1コマ/後期1コマ	授業時間数	前期15時間/後期15時間	単位数 前期1/後期1
科目区別	共通科目			
実施期間	2年次、前期/後期			
目的及び概要	1年次の経験を踏まえ、あらためて学校生活の過ごし方やマナーを見直し、2年間の集大成へ向かっていく。学校行事やイベントの運営も実施する。特に2年次は1年生のサポートを含めた運営を意識する。就職活動や卒業研究等自主活動時間を適宜設け自己啓発を推進する。学生個人のアクションプランを作成し実行していき、各期ごとに自分自身の振り返りを行い、更なる目標を持って次のアクションプランを考える。PDCA(※)サイクルを確立し、常に向上心を持ち、有意義な学校生活を送れるよう指導していく。 ※Plan(計画) Do(実施・実行) Check(点検・評価) Act(処置・改善)			
到達目標	学生生活においての知識、経験を活用し、より有意義な学校生活を実現する。社会に出る準備として、マナーを身につけ、何事にも自分自身で考え行動できる人材となる。PDCAサイクルを深め、学生生活の集大成を飾る。クラス運営はより組織化し、組織での自分の在り方を再確認する。また新たな役割を担う機会とする。			
授業運営方法	演習			
教科書	なし			
検定・資格	なし			
<授業計画>				
テーマ	授業内容詳細			授業時間
前期個人目標設定と振り返り コース行事の確認と役割	1年次の振り返り及び2年次前期の目標設定 1年次の学校生活を振り返り卒業に向け何を行うべきか考える。 PDCAサイクルの確認 各行事の役割・担当の確認と準備(グループワーク)			8時間
前期目標達成度合いの確認	前期の個人及び行事等、自身の目標達成度合いの確認 今後の課題について考える			7時間
後期個人目標設定と振り返り コース行事の確認と役割	2年次後期の目標設定 2年次前期の学校生活を振り返り卒業に向け何を行うべきか考える。 PDCAサイクルの確認 各行事の役割・担当の確認と準備(グループワーク)			8時間
後期目標達成度合いの確認	後期の個人及び行事等、自身の目標達成度合いの確認 卒業後の目標、課題について考える			7時間
成績評価方法	A:出席率80%以上、平常点優 B:出席率70%以上、平常点良 C:出席率50%以上、平常点可 D:出席率50%未満、平常点不可			

シラバス(授業内容)

科目名	キャリアデザインⅢ・Ⅳ		担当講師	就職担当
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数 前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	共通科目			
実施期間	2 年次:前期・後期			
目的 及び 概要	<p>1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。</p> <p>就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。</p> <p>後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。</p>			
到達目標	<p>1、内定及び進路決定を得ること。</p> <p>2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。</p> <p>3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。</p>			
授業運営 方法	座学、演習			
教科書	<p>「就職活動テキスト CAREER ADVICE TEXT」(インテリジェンス)1,620 円 * 一年次購入済み</p>			
検定・資格				
<授業計画>				
テーマ	授業内容詳細			授業時間
就職活動実践	<p>就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己 PR・志望動機作成、履歴書・ES 作成、面接演習、GP ワーク演習、小論文演習、SPI 対策と模擬試験演習</p>			15 時間
内定後	お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理			5 時間
ビジネス コミュニケーション	<p>ビジネスメール作成、受付と接客対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習</p>			10 時間
成績 評価方法	<p>A:出席率 90%以上 平常点優 B:出席率 75%以上、平常点良 C:出席率 50%以上、平常点可 D:出席率 50%未満、平常点不可 *平常点には、就職活動(進路活動)、授業態度、提出物などが含まれます。</p>			

シラバス (授業内容)

科目名	就職筆記対策Ⅲ		担当講師	松橋 功	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 0 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 0 時間	単位数	前期 1 単位/後期 0 単位
科目区別	共通科目				
実施期間	2 年次、前期				
目的及び概要	日本の多くの企業が就職採用試験で実施している筆記テストの対策授業。 就職試験に用いられるテストには、企業が独自で作る一般常識などのテストのほかに、専門業者が開発・販売している適正検査がたくさんあります。当授業では、日本で最も多く使われている採用テストである SPI (リクルート販売商品) 対策を中心に行います。就職筆記試験は、問題量が多く、解ききれないくらい出題されるケースもありますが、問題レベルはそれほど高いわけではありません。対策すれば必ず点数は上がります。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動における採用試験の“絞り込み”に勝ち残る基礎学力を身につける。 ・仕事をの上で必要な基礎学力を身につける。 				
授業運営方法	講義・演習・実技・実習				
教科書	史上最強 SPI&テストセンター超実践問題集 ナツメ社 1404 円 (税込) (1 年次購入済み)				
検定・資格	無し				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	非言語能力対策Ⅰ	集合 年齢算・つるかめ算など特殊算 割合と比 損益算・料金割引 表の解釈・情報の読み取り			9 時間
	非言語能力対策Ⅱ	数列 計算			2 時間
	非言語能力対策Ⅲ	図形問題			3 時間
	言語能力対策	漢字の書き取り・読み 二語の関係 語句の意味			1 時間
成績評価方法	A : 出席率 80%以上、平常点良好、授業内期末試験 80 点以上 B : 出席率 80%以上、平常点良好、授業内期末試験 60 点以上 C : 出席率 50%以上、平常点良好、授業内期末試験 40 点以上 D : 出席率 50%未満、平常点不良、授業内期末試験 40 点未満				

シラバス（授業内容）

科目名	Tourism English III・IV			担当講師	Native teacher
履修コマ数	前期 45 コマ/後期 30 コマ	授業時間数	前期 45 時間/後期 45 時間	単位数	前期 2 単位/後期 2 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次： 前期・後期				
目的及び概要	Students will learn polite English and specialist vocabulary and phrases used in a variety of industries, such as the hotel industry and the travel industry. They will also perform role-plays.				
到達目標	Students will learn English used in the tourism industry when dealing with visitors from overseas. It will also help students who wish to work or travel abroad in future.				
授業運営方法	演習				
教科書	Welcome! (Cambridge University Press) 3413 円 (税込)				
検定・資格	任意 観光英検 2 級・3 級 6 月 / 10 月				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	Travelling around	English used in for travel and in the travel industry.			30 時間
	Food & drink	English used in hotels, restaurants & lounges.			20 時間
	Accommodation	English used in hotels and in the travel industry.			20 時間
	Phone calls, correspondence & problems	English used when dealing directly with customers on the phone, with letters & emails, and dealing with problems.			20 時間
成績評価方法	A : 評価試験 (理解度) 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 (理解度) 60%以上、出席率 65%以上、平常点 良 C : 評価試験 (理解度) 40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 (理解度) 40%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

シラバス (授業内容)

科目名	English Communication in Use II/III		担当講師	Native teacher	
履修コマ数	前期 45 コマ/後期 45 コマ	授業時間数	前期 45 時間/後期 45 時間	単位数	前期 2 単位/後期 2 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次 : 前期・後期				
目的及び概要	Students will practise speaking, listening & reading skills on a broad range of topics.				
到達目標	The students will build on the English skills they gained in the first year, with the emphasis on communication skills.				
授業運営方法	演習				
教科書	Speak Now 1 (1 年次購入済) Speak Now 2 (Oxford University Press 2940+税)				
検定・資格	なし				

<授業計画>

テーマ	授業内容詳細	授業時間
Hometowns, shopping & food	Describing hometowns, shopping habits and different kinds of food	25 時間
Friends & family, restaurants and health	Describing people's appearance & personality, describing restaurants and ordering food, health problems & advice.	25 時間
Jobs & free time	Talking about jobs and ability, inviting & apologising.	15 時間
Travel, style & opinions	Preferences, schedules, ideas & requests, giving opinions, agreeing & disagreeing	25 時間
成績評価方法	A : 評価試験 (理解度) 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 (理解度) 60%以上、出席率 65%以上、平常点 良 C : 評価試験 (理解度) 40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 (理解度) 40%未満、出席率 50%未満、平常点 不可	

シラバス（授業内容）

科目名	国内観光地理 I, II		担当講師	丸岡 伸久	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1/後期 1
科目区別	専門必修科目				
実施期間	2 年次、前・後期				
目的及び概要	日本国内の主要な観光地の所在地、特色を理解する。時間の前半はテキストで講義し、後半は写真を見て理解を深める。				
到達目標	観光業界および関連業界で仕事をする際に、観光地の見所やアクセスを案内できるレベルを目指す。				
授業運営方法	講義				
教科書	無し。テキストはその都度用意する。				
検定・資格					
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	日本の観光資源	温泉、寺社・仏閣など、日本独特の観光資源全般 訪日観光客の傾向や動向（人数の推移、人気観光地など）			3 時間
	東日本の観光地	北海道、東北、関東地方の主な観光地			12 時間
	中部地方の観光地	甲信越、北陸、中部地方の主な観光地			5 時間
	西日本の観光地	近畿、中国、四国、九州、沖縄の観光地			10 時間
成績評価方法	A：授業内期末試験 80 点以上、出席率 75%以上、提出物・課題評価 良好、平常点 良好 B：授業内期末試験 65 点以上、出席率 75%以上、提出物・課題評価 良好、平常点 良好 C：授業内期末試験 40 点以上、出席率 50%以上、提出物・課題評価 普通、平常点 普通 D：授業内期末試験 40 点未満、出席率 50%未満、提出物・課題評価 不良、平常点 不良				

シラバス (授業内容)

科目名	World Destinations II/III		担当講師	石松 由絵子	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 30 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 30 時間	単位数	前期 1 単位/後期 2 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次： 前期・後期				
目的及び概要	<p>“ディスティネーションズ Destinations” とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社、空港、海外旅行を扱う旅行会社などで働こうとする皆さんにとって、お客様の渡航先についての基本的な知識は必須です。1 年次の基礎知識をもとに、2 年次では、主に日本人渡航者が、多く訪れる場所をピックアップし、その特徴や魅力、気候、食文化、特産品を学びます。欧州に関しては、各国をつなぐ歴史や宗教についてもセンスを養います。また、世界地図上で、主要な国・都市・観光につながる地勢（海洋・河川・山脈など）を把握します。</p> <p>なお、世界遺産検定・海外地理検定の合格を目的とした、検定対策の授業ではありません。</p>				
到達目標	世界の主要な国、都市を地図上で直ちに指し示することができる。日本からの渡航者が多く訪れる世界の主だった観光地について、内容を理解し、説明することができる。自分の興味のある destinations について、その魅力を他者につたえることができる。時差計算ができる。				
授業運営方法	演習				
教科書	海外地理ベーシック 400 (JTB 総合研究所) 旅に出たくなる地図 (帝国書院) ※すべて 1 年次に購入済				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	Review of World Destinations I	世界の地勢、主要な国の場所を地図上で再確認			2 時間
	Asia	Korea/ China (mainland, Hong Kong, Taiwan) / Vietnam/Cambodia/ Thailand/Singapore/Indonesia/ India			11 時間
	期末試験と解説	前期期末試験／解説			2 時間
	Oceania	New Zealand/Hawaiian Islands (※Australia は 1 年次に履修済)			4 時間
	North America	U. S. A. /Canada			4 時間
	Central & South America	Brazil, Peru			2 時間
	Europe	U. K. /France/Spain/Italy/Austria/Switzerland			12 時間
	ヨーロッパについての教養	宗教の流れ／音楽／美術			2 時間
	Middle East and Africa	Turkey/Egypt			4 時間
	後期期末試験と解説	期末試験／解説			2 時間
成績評価方法	<p>A : 評価試験 (理解度) 70 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B : 評価試験 (理解度) 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C : 評価試験 (理解度) 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D : 評価試験 (理解度) 40 点未満、出席率 60%以上、平常点不可</p>				

シラバス (授業内容)

科目名	English Interview		担当講師	北原 多英美 Nick Delleman	
履修コマ数	前期 30 コマ/後期 0 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 0 時間	単位数	前期 2/後期 0
科目区別	専門必修科目				
実施期間	2 年次、前期、4 月～7 月、15 週間、週 2 日、1 日 50 分実施する				
目的及び概要	外資系企業や英語が求められている職場に就職する際、英語面接は避けては通れません。日本語の面接の時以上に緊張し、不安になると思います。この授業では、英語面接の特徴や注意点を学び、何回も練習し、外国人との会話やその場の雰囲気になれるようにすることが目的です。英語面接と共に日本語面接についても練習します。				
到達目標	英語面接の特徴を学び、慣れることによって自信を持って面接に臨めるようにする。				
授業運営方法	講義・ 演習 ・実技・実習				
教科書	無し				
検定・資格	無し				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	面接試験の一般的な流れ 面接力 面接官の考え	面接試験の種類とその目的 面接官を惹きつける話し方、緊張を緩和する方法 どんな社員が求められているかを考える			6 時間
	日本語による面接 英語による面接	具体的な質問内容と的確な伝え方 (日本語：北原、英語：Nick)			8 時間
	模擬面接、フィードバック①	志望動機 自己紹介、自己 PR (日本語：北原、英語：Nick)			8 時間
	模擬面接、フィードバック②	具体的な質問内容での面接練習 (日本語：北原、英語：Nick) 例) 実習・アルバイト経験から学んだこと 例) 学生時代に 1 番頑張ったこと			8 時間
成績評価方法	A：評価試験 (理解度) 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B：評価試験 (理解度) 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C：評価試験 (理解度) 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 (理解度) 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

シラバス (授業内容)

科目名	News & Discussion I/II		担当講師	須田礼美	
履修コマ数	前期 30 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 15 時間	単位数	前期 2 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次：前期・後期				
目的及び概要	<p>世の中の動きに興味と関心を持ち、一般常識を身につける事が目的です。 興味のある情報のインプットとアウトプットを繰り返す事で、理解力や語彙力を効果的に高めていきます。「調べ学習」と「情報伝達」の反復練習で、情報処理能力を養います。 過去1週間に起きたニュースの中から、各自が1つ選びそれを要約し授業内で発表します。発表後の質疑応答でクラス全体が内容を理解し、それに関連したテーマでディスカッションする事でより深く内容を掘り下げていきます。物事を多角的に見る訓練をしながらコミュニケーション力も身につけましょう。</p>				
到達目標	<p>社会人として必要な語彙力・理解力・表現力を身につける 情報を過不足なく伝え、それに対する自分の意見を表現できるようになる</p>				
授業運営方法	演習				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
	オリエンテーション (授業の目的と進め方の説明)	課題の取り組み方と発表の仕方 発表と質疑応答 評価方法と目的の確認		2 時間	
	発表と質疑応答の練習	発表者として気をつける事 (順番・情報の取捨選択・5W1H・数字マジック・真偽と正誤) 聴く側として気をつける事 (傾聴姿勢・質問内容・感想や意見・本当に理解するという事)		5 時間	
	発表と質疑応答	ニュースサマリーの発表と質疑応答 随時講師からのフィードバック		24 時間	
	ディスカッション	分かりにくい内容や、講師が気になるニュースを取り上げ、関連したテーマでディスカッション		14 時間	
成績評価方法	A：評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点優 B：評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点良 C：評価試験(理解度)60%以上、出席率70%以上、平常点可 D：評価試験(理解度)60%未満、出席率70%未満、平常点不可				

シラバス (授業内容)

科目名	Reading & Writing II/III		担当講師	Jim/ Nick/ Rhys	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次： 前期・後期				
目的及び概要	The students will study true stories about people, places and things under different themes. In addition to the in-class textbook, students will be encouraged to read simplified English novels and newspapers from our library.				
到達目標	Reading & Writing will help students improve their reading speed and comprehension as well as English writing ability. It will also help students to prepare for the reading section of the TOEIC and Eiken tests.				
授業運営方法	演習				
教科書	People, Places and Things Reading Book 1 (Oxford University Press) (1 年次購入済)				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
	Mystery	Vocabulary building, reading comprehension and vocabulary review & puzzles about mystery.		6 時間	
	Clothes	Vocabulary building, reading comprehension and vocabulary review & puzzles about clothes.		6 時間	
	Skyscrapers	Vocabulary building, reading comprehension and vocabulary review & puzzles about skyscrapers.		6 時間	
	Antarctica & the Olympics	Vocabulary building, reading comprehension and vocabulary review & puzzles about Antarctica and the Olympics.		12 時間	
成績評価方法	A : 評価試験 (理解度) 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 (理解度) 60 点以上、出席率 70%以上、平常点 良 C : 評価試験 (理解度) 40 点以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 (理解度) 40 点未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

シラバス（授業内容）

科目名	TOEIC 対策Ⅱ/Ⅲ（グループ1）		担当講師	岡野恵美子	
履修コマ数	前期 45 コマ/後期 45 コマ	授業時間数	前期 45 時間/後期 45 時間	単位数	前期 3 単位/後期 3 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次：前期・後期				
目的及び概要	TOEIC スコアアップのために、なるべく多くの実戦問題に取り組みます。特に Part7 対策のため、各種演習を実施し、速読力や読解力を強化します。そしてテスト対策の学習を通じて、様々なシーンで活用できる英語運用能力を身につけることを目標とします。				
到達目標	1 年次 TOEIC スコアより 100 点アップ				
授業運営方法	講習				
教科書	「ミニ模試トリプル10 TOEIC L&R テスト」 スリーエーネットワーク 1600 円+税 TOEIC テスト書き込みドリル「フレーズ言いまわし編」新装版 桐原書店（1 年次購入済み）				
検定・資格	必修 検定名：TOEIC 検定 試験日：6 月 受験料：4500 円				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	リーディング Part5&6 対策	テキストを中心とした問題演習と基礎文法の確認 頻出フレーズの習得			20 時間
	リーディング Part7 対策	テキスト及び公式問題集を使用した実践問題演習			25 時間
	リスニング Part1&2 対策	テキスト及び各種問題集を使用した写真問題と応答問題の演習			20 時間
	リスニング Part3&4 対策	テキスト及び各種問題集を使用した会話文と説明文の問題演習			25 時間
成績評価方法	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率 49%以下、平常点 不可				

シラバス（授業内容）

科目名	TOEIC 対策Ⅱ/Ⅲ（グループ2）		担当講師	眞館 尚子 日隈 敬子	
履修コマ数	前期 45 コマ/後期 45 コマ	授業時間数	前期 45 時間/後期 45 時間	単位数	前期 3 単位/後期 3 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次：前期・後期				
目的及び概要	TOEIC には英語能力だけではなく、時間の使い方や技術が必要になってきます。このクラスでは1 年生で固めた文法やリスニング力を上手くいかせるよう、常に時間に意識しながら問題をこなしていきます。英語の語彙力向上と共に、TOEIC のスコアアップ、さらには本物の英語力を身につける事を目指します。出来るだけ早く目標点に達成しているよう頑張りましょう！				
到達目標	1 年次の最高スコア+100 点				
授業運営方法	講義				
教科書	ミニ模試トリプル10. TOEIC L&R テスト スリーエーネットワーク 1,728 円				
検定・資格	必修 検定・資格名：TOEIC 試験日：6 月 受験料：4,500 円				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	TOEIC 頻出語句をチェック	フレーズの教科書、問題文や選択肢に出てくる語句を繰り返し勉強することで、しっかり身に付ける。			15 時間
	リスニング	問題を解いた後にスクリプトを読みながら、語彙やフレーズをチェックし、声を出し手読めるようにする。			30 時間
	リーディング	Part7 の長文に慣れるよう、時間を計りながら問題を解く。答え合わせの際に、しっかり読み込む。			30 時間
	模試	時間配分を意識しながら解く練習をする。			15 時間
成績評価方法	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 60%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率 49%以下、平常点 不可				

シラバス (授業内容)

科目名	Song English I / II		担当講師	Mickey Acorn	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次: 前期・後期				
目的及び概要	Students will learn English from listening to songs and studying lyrics. Some lessons will look at the lives of some famous artists and different types of music. The themes will be repeated in the second semester but with new music and content. Students are also welcome to request songs or artists they would like to learn more about.				
到達目標	In addition to learning new words and expressions from songs, the students will also learn about music, and also learn about famous western singers & musicians.				
授業運営方法	演習				
教科書	N/A				
検定・資格	N/A				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
	Early Rock & Roll PART I & II	Students learn the history of rock & roll with a focus on American blues and the British invasion.		8 時間	
	Big in Japan PART I & II	A selection of English songs that have been used in advertising and in television shows in Japan. We will also look at English albums that were successful in Japan.		7 時間	
	The Pop Explosion 1980- Present PART I & II	Students will look at the evolution of pop music and how it is related to modern pop music that they are probably aware of.		8 時間	
	Sampling, Covers, and Theft PART I & II	Students will discover some of the favorite songs contain pieces from previously released music or were previously performed by other musicians. We will also discuss famous lawsuits involving songs that sound similar and songs that were plagiarized (stolen).		7 時間	
成績評価方法	A : 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点 良 C : 評価試験 40 点以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 40 点未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

シラバス (授業内容)

科目名	Screen English		担当講師	小野寺 和子	
履修コマ数	前期 30 コマ/後期 0 コマ	授業時間数	前期 30 時間/後期 0 時間	単位数	前期 2/後期 0
科目区別	専門必修科目				
実施期間	2 年次、前期、4 月～7 月、15 週間、週 2 日、1 日 50 分実施する				
目的及び概要	映画は生きた英語表現の宝庫です。視覚と聴覚を刺激しながら外国語を学ぶ最強のツールです。自然な英会話を Imagine, Feel and Digest を実感します。テキストは映画の名作、話題作品を鑑賞しながら学ぶ。異文化理解にも役立つ授業である。				
到達目標	仕事や日常生活にすぐ使える英語表現を楽しみながら学ぶ。総合的な英語運用能力を身につける				
授業運営方法	講義・演習・実技・実習				
教科書	Learn English with TITANIC Seibido 2300 円				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	Unit 1 ~ Unit 3	Vocabulary → Expressions → Listening → True/False questions ⇨ Partial Role Play → Summary Grammar → Discussion と授業を進める。 Review Quiz			6 時間
	Unit 4 ~ Unit 8	Vocabulary → Expressions → Listening → True/False questions → Partial Role Play → Summary Grammar → Discussion と授業を進める。 Review Quiz			10 時間
	Unit 9 ~ Unit 12	Vocabulary → Expressions → Listening → True/False questions → Partial Role Play → Summary Grammar → Discussion と授業を進める。 Review Quiz			8 時間
	Unit 13 ~ Unit 14	Vocabulary → Expressions → Listening → True/False questions → Partial Role Play → Summary Grammar → Discussion と授業を進める。 総復習と理解度テスト			6 時間
成績評価方法	A : 授業内期末試験 (理解度) 80 点以上、出席率 80%以上、提出物・課題評価良好、平常点良好 B : 授業内期末試験 (理解度) 65 点以上、出席率 65%以上、提出物・課題評価良好、平常点良好 C : 授業内期末試験 (理解度) 50 点以上、出席率 50%以上、提出物・課題評価普通、平常点普通 D : 授業内期末試験 (理解度) 50 点未満、出席率 50%未満、提出物・課題評価不良、平常点不良				

シラバス（授業内容）

科目名	Documentaries		担当講師	Terry	
履修コマ数	前期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間	単位数	前期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次：前期				
目的及び概要	Students will learn about other cities, countries and cultures. They will discuss what they learn, and will also learn some useful English words and expressions.				
到達目標	The students will become more knowledgeable about the world and be able to describe, compare and discuss different places and cultures.				
授業運営方法	演習				
教科書	Documentary DVDs & prints will be used.				
検定・資格	なし				
＜授業計画＞					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
	European cities	The students will learn about, compare & discuss cities in Europe.		3 時間	
	Asian cities	The students will learn about, compare & discuss cities in Asia.		5 時間	
	American & African cities	The students will learn about, compare & discuss cities in the Americas & South Africa.		4 時間	
	Festivals	The students will learn about, compare & discuss festivals.		3 時間	
成績評価方法	A : 評価試験 (理解度) 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 (理解度) 60%以上、出席率 65%以上、平常点 良 C : 評価試験 (理解度) 40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 (理解度) 40%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

シラバス（授業内容）

科目名	Chinese Communication in Use I・II		担当講師	香月 雪希	
履修コマ数	前期 45 コマ/後期 45 コマ	授業時間数	前期 45 時間/後期 45 時間	単位数	前期 3 単位/後期 3 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次：前期・後期				
目的及び概要	<p>「仕事で使える中国語会話」を学びます。 2 年次では、1 年次で学習した発音と会話の基本フレーズを踏まえ、実際に仕事で使用する中国語フレーズの習得を目指します。 授業ではフレーズを繰り返し発音し、また学生同士で会話練習を行い、会話フレーズの単語・文法などを自然に学びます</p>				
到達目標	各業界で初歩の対応ができる中国語会話の習得。				
授業運営方法	演習				
教科書	講師のプリント・動画				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	復習 各業界の初歩の中国語	一年次に勉強した内容を復習 クラスの就職内容に基づき各業界で使う初歩的な中国語会話			25 時間
	文法を勉強しよう 中国の映画を楽しもう	これまでのフレーズや単語を応用しながら文法を学習 映画を見て、セリフを実際にロールプレイングで発音			25 時間
	復習 中国や中国語をより深く知る	二年次前期に勉強した内容を復習 学生に自分たちが知りたい中国の習慣やお祝い事などを考えて、そのテーマに沿って中国語を覚える。			25 時間
	文法を勉強しよう 中国の映画を楽しもう	これまでのフレーズや単語を応用しながら文法を学習 映画を見て、セリフを実際にロールプレイングで発音			15 時間
成績評価方法	A：授業内期末試験（理解度）90%以上、出席率 80%以上、平常点良好 B：授業内期末試験（理解度）70%以上、出席率 60%以上、平常点良好 C：授業内期末試験（理解度）40%以上、出席率 30%以上、平常点普通 D：授業内期末試験（理解度）40%未満、出席率 30%未満、平常点不良				

シラバス (授業内容)

科目名	フランス語Ⅰ・Ⅱ		担当講師	湊	
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1/後期 1
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次：前期・後期				
目的及び概要	フランス語初心者のための「会話」を中心とした授業です。ABC から始まり、フランス語の歌や絵本を通してフランス文化に親しみながら、基本的な表現、フレーズを学びます。				
到達目標	フランス語の基本的な表現、フレーズを使って簡単な意思疎通が出来るようになる。				
授業運営方法	演習				
教科書	なし (プリント配布)				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
テーマ		授業内容詳細			授業時間
自己紹介に関する表現		<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介・挨拶 ・アルファベット ・名前のつづり 			5 時間
数字に関する表現		<ul style="list-style-type: none"> ・数字 ・年齢 ・12 ヶ月 ・誕生日と星座 ・主語と be 動詞 			5 時間
感情を表す表現		<ul style="list-style-type: none"> ・感情表現 ・Body Parts ♪ Les Champs Elysées 			5 時間
季節・天気に関する表現		<ul style="list-style-type: none"> ・季節 ・天気 ・クリスマス 			5 時間
基本的な動詞		<ul style="list-style-type: none"> ・～をする ・～をしたい ・～へ行く ・～ができる ♪ Sympathique 			5 時間
道案内に関する表現		<ul style="list-style-type: none"> ・場所 ・道案内 ・家 			5 時間
成績評価方法	A : 評価試験 (理解度) 80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B : 評価試験 (理解度) 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C : 評価試験 (理解度) 50%以上、出席率 50%以上、平常点可 D : 評価試験 (理解度) 49%以下、出席率 49%以下、平常点不可				

シラバス (授業内容)

科目名	ドイツ語 I/II			担当講師	Rhys
履修コマ数	前期 15 コマ/後期 15 コマ	授業時間数	前期 15 時間/後期 15 時間	単位数	前期 1 単位/後期 1 単位
科目区別	専門科目 (選択)				
実施期間	2 年次: 前期・後期				
目的及び概要	Students will learn basic German for conversation.				
到達目標	The students will be able to greet German-speaking guests, introduce themselves and have basic conversations.				
授業運営方法	演習				
教科書	Prints & DVDs will be used. Occasionally a native German speaker will join the class for practice.				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	Alphabet & pronunciation	Students will learn the alphabet in German, and pronunciation of different letters & blends.			4 時間
	Self-introduction, simple q & a	Students will learn how to introduce themselves in German, and learn simple questions & answers.			10 時間
	Numbers, days & dates	Students will learn nominal & ordinal numbers, days & dates.			8 時間
	Shopping	Students will learn basic vocabulary for shopping, and be able to ask and answer the prices of different things.			8 時間
成績評価方法	A : 評価試験 70 (理解度) 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 50 (理解度) 点以上、出席率 70%以上、平常点 良 C : 評価試験 30 (理解度) 点以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 30 (理解度) 点未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

シラバス（授業内容）

科目名	外客接客サービスⅡ		担当講師	須田礼美	
履修コマ数	後期 15 コマ	授業時間数	後期 15 時間	単位数	後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次： 後期				
目的及び概要	訪日外国人旅客のニーズ・ウォンツ・ホープに応えるために必要な知識と作法を習得するための授業です。外国人の価値観や習慣といった異文化に対する基礎的な知識を学習し日本との違いを明確にすることで、より質の高い接客サービスを提供できるようになります。				
到達目標	日本と外国との違いを学び、その違いを楽しめるようになる。 多角的でグローバルな視点を身につける。				
授業運営方法	演習				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細		授業時間	
	留学ビフォー&アフター	日本語と英語 日本と日本人と日本文化 外国と外国人と外国文化		3 時間	
	主な国民性と地域性	アメリカ・ヨーロッパ・アジア		6 時間	
	宗教と戦争	三大宗教の概要と終わらない戦争		2 時間	
	2020東京五輪に向けて	接客ロールプレイ クレームに関するケーススタディ		4 時間	
成績評価方法	A：評価試験（理解度）90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験（理解度）80%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験（理解度）60%以上、出席率 70%以上、平常点可 D：評価試験（理解度）60%未満、出席率 70%未満、平常点不可				

シラバス (授業内容)

科目名	手話講座		担当講師	千葉聴覚障害者センター 担当講師	
履修コマ数	後期 15 コマ	授業時間数	後期 15 時間	単位数	後期 1 単位
科目区別	専門科目				
実施期間	2 年次： 後期				
目的及び概要	共生社会を実現するためには、障害を持つ人たちへの偏見や差別意識をなくし、共に手を携えて同じ場所に生活する深い意味や、全ての人が参加し、平等に情報を得ることの意味について考えることが必要不可欠です。その上で、実際に聴覚障害者を持つ人との日常的な接し方、バリアフリー・コミュニケーションの手段を学び、また、接客に対応できるよう手話表現を身につけることを目標とし、学びます。				
到達目標	サービス業において、障害者のお客様と接する機会が多いと思われる。どのようなお客様にも均等にサービスが出来るようバリアフリーの授業とともに、この授業では聴覚障害・聴覚障害者への理解と認識を深めると共に簡単な手話表現が出来る技術の習得を目指す。				
授業運営方法	演習				
教科書	友だちをつくる手話 改訂版 (千葉県聴覚障害者センター) 1,000 円 (税込)				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	手話とは何か	講義「手話を学ぶにあたり」 基礎的表現の習得 (挨拶、名前、家族、趣味)			5 時間
	日常会話の表現 (基礎編)	日常会話の表現の習得 (スポーツ、数字、時)			3 時間
	日常会話の表現 (応用編)	日常会話の表現の習得 (仕事、住所、食べ物、日常生活、感情)			4 時間
	総合練習、まとめ	旅行に関する手話表現など (聴覚障害者の体験談など) 手話表現の総合練習 まとめ学習			3 時間
成績評価方法	A : 評価試験 (理解度) 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B : 評価試験 (理解度) 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C : 評価試験 (理解度) 50 点以上、出席率 50%以上、平常点可 D : 評価試験 (理解度) 50 点未満、出席率 50%未満、平常点不可				

シラバス (授業内容)

科目名	社会人準備講座		担当講師	須田礼美	
履修コマ数	後期 15 コマ	授業時間数	後期 15 時間		単位数 後期 1
科目区別	専門必修科目				
実施期間	2 年次、後期				
目的及び概要	自立と自律ができる社会人として、最低限必要な心構えと情報を確認する講座です。 敬語・報連相・慶弔マナー・社会保障・選挙・税金など、知らないと恥をかくだけでなく損をしてしまう情報を再確認します。中でも、実践的なスキルとして身につけていなければならない敬語や報連相、慶弔マナーなどは、ロールプレイやケーススタディを通して楽しみながら再確認していきます。				
到達目標	社会保障・税金・選挙については、知らない友人に説明ができるようになる。 社会人として守るべきルールやマナーは、守らない方がカッコ悪いと思う程自然にできるようになる。				
授業運営方法	講義				
教科書	なし				
検定・資格	なし				
<授業計画>					
	テーマ	授業内容詳細			授業時間
	オリエンテーション	授業の目的と進め方の説明 「カッコ悪い大人」について 「なりたい自分」イメトレに向けて			2 時間
	ルール・マナー・エチケット	変わりゆく一般常識と変わらないモノ お付き合い・義理人情 / 文化・慣習 言葉と言葉遣い (報連相)			7 時間
	社会保障制度・税金	年金と健康保険と雇用保険 所得税と住民税			4 時間
	選挙・政治	選挙に行こう！			2 時間
成績評価方法	A：授業内期末試験（理解度）90 点以上、提出物・課題評価良好、平常点良好 B：授業内期末試験（理解度）80 点以上、提出物・課題評価良好、平常点良好 C：授業内期末試験（理解度）60 点以上、提出物・課題評価普通、平常点普通 D：授業内期末試験（理解度）60 点未満、提出物・課題評価不良、平常点不良				